

## 北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体		
北区熱中症対策事業			北区役所企画総務課		
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6
夏季を中心に危険な暑さが続く中で、熱中症による健康被害の予防のため、北区として熱中症対策に取り組む。	北区役所が改正気候変動適応法に基づく指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)に指定されたことを踏まえ、区民の皆様が一時的に暑さをしのげるよう、エントランスホールを環境を整備する。(休憩スペースの設置及び適切な空調管理) また、地域で開催されるイベント等においても、暑さ指数に基づく適切な熱中症対策を行っていただけるよう、各校区にWBGT測定器(暑さ指数計)を配備する。	クーリングシェルター開設率 (R6.7.1～R6.10.23)	/	/	100%
		WBGT測定器(暑さ指数計)配備校区数	/	/	15校区
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 改正気候変動適応法の趣旨に則り、区民の皆様が一時的に暑さをしのぐために必要な環境を整備することは、区役所庁舎の公共性に鑑み妥当である。	○ 各校区にWBGT測定器(暑さ指数計)を配備することで、校区主催イベント等での熱中症対策の普及啓発を協働で行った。	○ 令和6年12月に実施したCSアンケートでエントランスホールの環境整備について好意的な意見が複数寄せられている。	○ 各校区に配備するWBGT測定器(暑さ指数計)を可搬式とし、かつ画面表示等で暑さ指数が容易に把握できるものとしたことで、効果的な熱中症対策が可能である。		
⑤自立発展性	総合評価				
○ 配備されたWBGT測定器(暑さ指数計)を活用し、各校区での適切な熱中症対策の実施が期待できる。	○ 今後毎年のように危険な暑さとなることが想定されるなか、各校区と協働し事業を実施することは、区民の皆様からの自発的な熱中症対策の推進に効果が期待できる。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今年度(令和6年度)に整備、配備した資機材を活用し、継続して北区として熱中症対策に取り組む。				